

都城市クリーンセンター 建設・維持管理事業

審 査 講 評

平成 23 年 10 月

都城市クリーンセンター事業者選定委員会

目 次

1	選定委員会	1
2	選定方法	1
3	選定スケジュール	1
4	審査結果の概要	2
4.1	入札参加資格審査	2
4.2	技術審査	2
4.3	非価格要素審査	2
4.4	価格審査	5
4.5	総合評価点の算出及び落札予定者の選定	5
5	総評	5

用語の定義

J V : 特定建設共同企業体をいう。

S P C（特別目的会社）：本事業の維持管理業務を実施するために、民間事業者が会社法（平成 17 年法律第 86 号）上の株式会社として都城市内に設立する会社をいう。

D B M方式 : Design（設計）、Build（建設）、Maintenance（維持管理）を民間事業者に一括して委ねる民活事業手法をいう。

1 選定委員会

都城市は、「都城市クリーンセンター事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）を設置し、次の委員を選任した。

委員長：荒井 喜久雄	社団法人全国都市清掃会議技術部長
副委員長：野村 秀雄	都城市副市長（平成 22 年 7 月 1 日から）
委員：土手 裕	国立大学法人宮崎大学工学部准教授
委員：平原 洋和	独立行政法人国立高等専門学校機構都城工業高等専門学校名誉教授
委員：岩熊 美奈子	独立行政法人国立高等専門学校機構都城工業高等専門学校物質工学科准教授
委員：和田 利一	税理士（和田税務会計事務所所長）
委員：石崎 敬三	三股町副町長（平成 23 年 2 月 8 日から）
前副委員長：前田 公友	都城市副市長（平成 22 年 6 月 30 日まで）
前委員：木佐貫 辰生	前三股町副町長（平成 22 年 7 月 23 日まで）

2 選定方法

事業者の選定方法は、事業者選定基準書に示すとおりであり、資格審査を実施した後、本審査を行った。

本審査は、「提出書類の確認」、「技術審査」、「非価格要素審査」及び「価格審査」で構成され、このうち技術審査では、要求水準書等に規定された性能要件を満足できているか、事業としての妥当性を有しているかについて審査を行った。

技術審査を通過した入札参加者の提案内容に対する非価格要素審査の実施にあたっては、応募者との対話方式によるヒアリングを開催し、提案書の内容について精査した。その後、提案内容を評価し、点数化する非価格要素審査を実施し、価格審査の点数と合わせて総合評価方式により落札予定者を選定した。

なお、非価格要素審査にあたっては、応募者名を匿名とし、公平性を確保した。

3 選定スケジュール

選定委員会の開催状況及び審査結果の公表状況等は、表 1 に示すとおりである。

表 1 選定委員会の開催状況、審査結果の公表状況等

スケジュール	内 容
平成 22 年 3 月 31 日（水）	第 1 回選定委員会（委員長、副委員長の選任等）
平成 22 年 7 月 28 日（水）	第 2 回選定委員会（実施方針、入札方式の審議等）
平成 22 年 9 月 2 日（木）	実施方針の公表
平成 22 年 10 月 22 日（金）	第 3 回選定委員会（特定事業の選定、要求水準書の審議等）
平成 22 年 10 月 29 日（金）	特定事業の選定結果の公表
平成 22 年 12 月 21 日（火）	第 4 回選定委員会（入札説明書、選定基準書、要求水準書の審議等）
平成 23 年 1 月 19 日（水）	入札公告及び募集要項の公表・配布
平成 23 年 2 月 18 日（金）	第 5 回選定委員会（審査方法の審議等）
平成 23 年 2 月 28 日（月）	参加表明書の受付締切
平成 23 年 3 月 11 日（金）	入札参加資格審査申請書類及び提案概要書の受付締切
平成 23 年 4 月 6 日（水）	第 6 回選定委員会（入札の取扱いの審議等）

スケジュール	内 容
平成 23 年 4 月 8 日 (金)	入札の中止の公表
平成 23 年 4 月 20 日 (水)	入札公告及び募集要項の再公表・配布
平成 23 年 6 月 6 日 (月)	参加表明書、入札参加資格審査申請書類の受付締切
平成 23 年 6 月 29 日 (水)	第 7 回選定委員会(入札参加者へのヒアリング、参加資格審査等)
平成 23 年 7 月 1 日 (金)	参加資格審査結果の通知
平成 23 年 8 月 5 日 (金)	入札書類の受付締切
平成 23 年 8 月 31 日 (水)	第 8 回選定委員会(採点方法、入札書類の疑義事項の審議等)
平成 23 年 9 月 29 日 (木)	第 9 回選定委員会(入札参加者への本審査ヒアリング、非価格要素審査、価格審査等)
平成 23 年 10 月 3 日 (月)	落札者の決定及び公表

4 審査結果の概要

4.1 入札参加資格審査

表 2 に示す 1 グループより入札参加資格審査申請書類の提出があった。

表 2 入札参加者

グループ名	代表企業	構成員	協力企業
川崎重工グループ	川崎重工業株式会社 九州支社	—	大淀開発株式会社 丸昭建設株式会社 株式会社 匠 株式会社 持永組

入札説明書に定めた参加資格に基づき、提出された入札参加資格審査申請書類の審査を行った。また、選定委員会による入札参加者へのヒアリングを行い、提案概要について基本的な技術力を有しているかの確認等を行った。

審査の結果、川崎重工グループを合格とし、その旨通知を行った。

4.2 技術審査

入札参加者から提出された技術提案書、非価格要素提案書、事業計画書に記載の内容が、要求水準書等に示す最低限の要件を満たしているか否かを審査した。その結果、川崎重工グループの提案は技術審査に合格しているものと認められた。

4.3 非価格要素審査

4.3.1 審査結果一覧

非価格要素審査結果を表 3 に示す。

入札参加者から提出された非価格要素提案書をもとに、「事業者選定基準書」(配点 500 点)に示す 28 項目について、表 4 に示す A～E の 5 段階評価を行い、入札参加者の提案内容を点数化した。審査に際し、選定委員会による入札参加者へのヒアリングを実施し、入札参加者からの提案内容の説明や委員による質疑を行った。

表 3 非価格要素審査結果一覧

評価項目					配 点			川崎重工グループ得点						
非 価 格 要 素 審 査	1 域 環 境 へ の 配 慮 ・ 地 球 環 境	1)	環境負荷の低減が図られた施設	(1)	環境負荷低減策	20	40	100	17.14	34.28	87.86			
				(2)	最終処分場の延命化、飛灰の安定化・無害化	20			17.14					
		2)	低炭素社会を推進する施設	(1)	サーマルリサイクル	10	30		9.29	28.58				
				(2)	温室効果ガスの削減	20			19.29					
		3)	住民に信頼され、周辺環境と調和する施設	(1)	操業データの公開	10	30		8.21	25.00				
				(2)	周辺環境との調和	10			8.93					
				(3)	施工時の環境保全	10			7.86					
		2 信 頼 性 と 安 全 性 の 実 現	1)	安心、安全な施設作りの実現	(1)	安定稼働、安全対策	10		60	120		8.21	49.99	102.85
					(2)	施設の信頼性の確保	10					8.21		
	(3)				安全性、機能性の確保	10	8.21							
	(4)				労働安全性	10	7.50							
	(5)				施設のバリアフリー化	10	9.29							
	(6)				災害対策	10	8.57							
	2)		安定性に優れた事業	(1)	収支計画	10	60	8.21	52.86					
				(2)	入札参加者等の構成と役割	20		17.86						
				(3)	リスク管理	20		17.86						
				(4)	維持管理費に対する考え方	10		8.93						
	3		ライフサイクルコストの縮減	(1)	用役量の適正	30	80	80	22.50	65.00	65.00			
				(2)	用役費低減方策	30			24.64					
				(3)	処理システム	20			17.86					
	4	維持管理性の確保	(1)	維持管理体制	20	120	120	14.29	92.50	92.50				
			(2)	維持管理計画	30			23.57						
			(3)	緊急時対応計画	20			15.00						
			(4)	施設の30年以上使用のための計画・提案	30			24.64						
			(5)	業務の引継	20			15.00						
	5	地域経済への貢献	(1)	建設工事における地元企業等の活用	30	80	80	25.71	65.00	65.00				
			(2)	維持管理事業における地元企業等の活用	30			21.43						
			(3)	運転企業への支援	20			17.86						
	非価格要素審査 計						500			413.21				

表 4 評価、評価内容、採点の算出方法

評 価	評価内容		採点の算出方法
A	特に優れている	提案の効果に特に大きな期待ができる	配点 × 100%
B	優れている	提案の効果に大きな期待ができる	配点 × 75%
C	普通	提案の効果に期待ができる	配点 × 50%
D	やや劣る	提案の効果にあまり期待ができない	配点 × 25%
E	劣る	提案の効果にほとんど期待ができない	配点 × 0%

4.3.2 非価格要素審査の講評

非価格要素審査の講評は、表 5 に示すとおりであった。

表 5 非価格要素審査の講評

評価項目		講評
1 地球環境・地域環境への配慮	1) 環境負荷の低減が図られた施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適切な公害防止対策が示されており、特に悪臭対策については、防臭区画の設定や臭気の漏えい防止等、二重、三重の対策が採られており評価できる。 ダイオキシン類対策、飛灰処理時の有害ガス発生対策が提案されており評価できる。 焼却残渣発生量が少なく、最終処分場の延命化に寄与することが評価できる。
	2) 低炭素社会を推進する施設	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な発電効率の向上、温室効果ガス低減の方策が提案されており評価できる。 現在、全国的に電力が不足する状況にあり、発電機出力自動調整システムの採用による電力需要の高い時間帯での発電量増加の提案は評価できる。
	3) 住民に信頼され、周辺環境と調和する施設	<ul style="list-style-type: none"> 大きさを感じさせない建物や煙突のデザインが提案されており、特に建物の高さを低くする工夫が評価できる。 搬入路勾配及び敷地動線計画については、搬入車両等の安全確保に配慮されており評価できる。
2 信頼性と安全性の実現	1) 安心、安全な施設作りの実現	<ul style="list-style-type: none"> ごみ質、ごみ量変動に対応した独自の焼却技術が提案されており、特に補助燃料を使用せずに処理できる領域が十分確保されている点が評価できる。 メンテナンススペースの確保等の安全な維持管理や運転のための工夫、見学ゾーンのバリアフリー等が提案されており、評価できる。
	2) 安定性に優れた事業	<ul style="list-style-type: none"> 代表企業へのリスク移転、代表企業からの支援体制が具体的に提案されており評価できる。 DBM方式におけるリスクが検討されており評価できる。
3 ライフサイクルコストの縮減		<ul style="list-style-type: none"> 代表企業の類似施設の豊富な実績からの機器の長寿命化、耐久性の向上が提案されており、評価できる。 誤操作防止による用役使用量低減策等は評価できるが、実際の運転において提案用役量での運転が可能か、今後継続した検証が必要である。
4 維持管理性の確保		<ul style="list-style-type: none"> DBM方式を十分理解した上で、市及び維持管理事業者、運転企業、代表企業との協議・調整や運転企業へのサポート体制が提案されており、評価できる。 緊急時の対応マニュアルの作成、代表企業の豊富な実績を基にした支援体制が評価できる。
5 地域経済への貢献		<ul style="list-style-type: none"> J V及びSPC内に地元発注窓口を設ける提案がなされており評価できる。 運転企業に対する教育訓練方法について、具体的に提案されており評価できるが、教育訓練期間及び費用は、実施にあたり検討を要する。

4.4 価格審査

入札書により入札価格が予定価格を超過していないか確認したところ、川崎重工グループは予定価格の超過はなかったことから、価格審査を行った。

価格審査結果は、表 6 に示すとおりである。価格審査は、「事業者選定基準書」（配点 500 点）に基づき、入札価格について点数化を行った。

表 6 価格審査結果一覧

項目	予定価格	入札価格
建設費（税込み）	8,955,970,000 円	8,379,000,000 円
維持管理費（税込み）	5,209,125,000 円	5,061,000,000 円
合計（税込み）	14,165,095,000 円	13,440,000,000 円
価格審査点	—	500 点

$$\text{価格審査点} = \text{価格審査 配点} \times \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{最低入札価格}}$$

4.5 総合評価点の算出及び落札予定者の選定

「事業者選定基準書」に従って表 7 に示すとおり入札参加者の総合評価点を算出し、川崎重工グループを落札予定者として選定した。

表 7 総合評価点の算出結果

項目	川崎重工グループ
非価格要素審査点	413.21 点
価格審査点	500.00 点
総合評価点	913.21 点

$$\text{総合評価点} = \text{非価格要素審査点} + \text{価格審査点}$$

5 総評

川崎重工グループの提案は、十分に評価できるものであり、「地球環境・地域環境への配慮」、「信頼性と安全性の実現」、「ライフサイクルコストの縮減」、「維持管理性の確保」、「地域経済への貢献」の 5 つの評価項目について、本事業の要求水準を満足し、さらに優れた提案がなされている。

ただし、地域経済への貢献の面から、積極的な地元活用を図る姿勢について評価しているものの、今後、公正労働へも配慮し、地元企業への適正な金額による発注及びさらなる地域貢献策の実現を要望したい。

近年、廃棄物処理施設の建設・運営事業は、プラントメーカーの選択的応札が進んでおり、本事業でも、九州地区で時期を前後して大型案件が複数発注されたことなどもあって、入札参加事業者数が限定される結果となった。

委員会においては、公平公正な審査を確保することに十分に意を払ってきたところであり、客観的な審査基準を設定し、適正な審査を行うことができたと考えている。

川崎重工グループは、今後、20 年以上にわたって都城市及び三股町のパートナーとし

て本地域のごみ処理を担っていくことから、運転企業など関係者間の十分な連携を図り、都城市及び三股町の地域環境の保全、さらには地域経済の発展のために、一層の努力をお願いしたい。